

第 119 回実践勉強会 実施レポート

2020 年 9 月 15 日 大田区薬剤師会共催
共催ブリストルマイヤーズスクイープ

参加者 69 名

開催日時：2020 年 9 月 15 日（火）19:45～21:15

講師：久武 真二先生（東邦大学大学院医学研究科 循環器内科学 講師）

演題名：「最近の心房細動の話題とコロナ時代の調剤薬局の役割」

【質問①】

コロナウイルス感染について ARB 阻害薬と ACE 阻害薬は悪影響を及ぼさないと考えてよいか。

【解答①】

悪影響はないと考えられる。

COVID-19 のウイルスである SARS-CoV-2 は体に入ってくる時に ACE2 を入り口として使う。そのためレニン-アンジオテンシン系のカスケードから ACE2 を増やす ARB や ACE 阻害薬を服薬することで感染しやすくなるのではないかと言われたことがあった。

しかし、実際は感染しやすい、重症化しやすいということはない。むしろ横浜を中心とした研究などでは ARB や ACE 阻害薬を飲んでいる人の方が重症化しないという結果も出ている。

理由として、ACE2 に引っ付いたウイルスは ACE2 を減らし、アンジオテンシン II を増やすことで結果的に心臓や血管の損傷を与えると考えられているが、ACE 阻害薬や ARB は逆に ACE2 を増やし心保護に作用するので、COVID-19 の心血管系への損傷を抑えるからと考えられている。

従って、感染しやすいという根拠もなければ、飲んでいる方がよいというデータが出ているのが現状です。

【質問②】

患者から言われたこと、言われる可能性はあるか？

【回答②】

インテリジェンスで、インターネットなどで目をした方や、在宅勤務などで情報を得た人は断片的に聞かれる可能性はある。

患者に聞かれたら事実をしっかりと伝えることが大事である。

以上